

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用害虫と使用方法】 ←この色の部分が2009年11月18日付けで適用拡大になりました。

※印は本剤及びマラソン、MEPを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	総使用回数※	使用方法
花き類・観葉植物	アブラムシ類	1,000	—	6回以内	散布
つばき	チャドクガ	2,000			
つつじ	ツツジゲンバイ				
さくら プラタナス	アメリカシロヒトリ	1,000~2,000			

【効果・薬害等の注意】

- ①あぶらな科作物にはかからないようにしてください(薬害)。
- ②花き類に使用する場合、開花期の使用は避けてください(薬害)。
- ③適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認して使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 メガネ着用 マスク着用

- ①体調のすぐれないときは散布しないでください。
- ②誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- ③散布液調製時には保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- ④皮ふに付着しないように注意してください。皮ふに付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(刺激性)。
- ⑤かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- ⑥散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- ⑦自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかからないように注意してください(塗装汚染・変色)。
- ⑧散布中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。風向きなどを考え周辺の人家、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- ⑨街路、公園等で使用する場合、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑩蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ⑪ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ⑫使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

治療法：マラソン及びMEPには硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効です。

魚毒性：養殖池等周辺での使用はさけてください。使用残りの薬液が生じないように調製をし、使いきってください。散布器具・容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。